

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

#4



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 5月12日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-141017

出 願 人

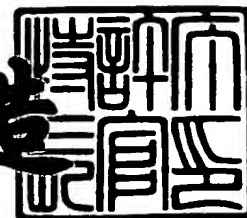
Applicant(s):

株式会社ハイパーマーケティング
谷 正行

2001年 4月27日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3035380

【書類名】 特許願

【整理番号】 TI200001FT

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 19/00
G06F 17/60

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県横浜市青葉区みたけ台 3 8 - 2 8

 【氏名】 谷 正行

【特許出願人】

 【住所又は居所】 東京都千代田区神田和泉町 1 - 9 - 1 7 新英ビル 1 F

 【氏名又は名称】 株式会社ハイパーマーケティング

 【代表者】 諸岡 正浩

【特許出願人】

 【住所又は居所】 神奈川県横浜市青葉区みたけ台 3 8 - 2 8

 【氏名又は名称】 谷 正行

【代理人】

 【識別番号】 100093104

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 船津 暢宏

 【電話番号】 03-3571-1109

【選任した代理人】

 【識別番号】 100092772

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 阪本 清孝

 【電話番号】 03-3571-1109

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 041715

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 消耗品提供システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 接続される装置の使用情報を管理するサーバーとネットワーク接続により前記装置の使用情報を取得し、当該装置の消耗品の納入予定を推測し、当該納入予定日となると消耗品の発送手続を行う消耗品提供側のサーバーを有することを特徴とする消耗品提供システム。

【請求項 2】 消耗品提供側のサーバーは、納入予定の推測を消耗品の消耗履歴に基づいて行うサーバーであることを特徴とする請求項 1 記載の消耗品提供システム。

【請求項 3】 装置は印刷機であり、使用情報がトナーニアアエンド又はトナーエンプティであって、消耗品提供側のサーバーは、前記トナーニアアエンドと前記トナーエンプティに基づく履歴によって納入予定の推定を行うサーバーであることを特徴とする請求項 2 記載の消耗品提供システム。

【請求項 4】 接続される装置の使用情報を管理するサーバーにネットワーク接続により前記装置の使用情報を取得し、当該装置の消耗品の納入予定を推測し、当該納入予定日となると納入予定の消耗品とリサイクル回数が同等レベルの代替リサイクル消耗品の発送手続を行う消耗品提供側のサーバーを有することを特徴とする消耗品提供システム。

【請求項 5】 消耗品提供側のサーバーは、消耗品提供側に同等レベルの代替リサイクル消耗品がない場合、提携する同業者から同等レベルの代替リサイクル消耗品を用意して発送するサーバーであることを特徴とする請求項 4 記載の消耗品提供システム。

【請求項 6】 消耗品提供側のサーバーは、消耗品提供側に同等レベルの代替リサイクル消耗品がない場合、近いレベルの同種の代替リサイクル消耗品を用意して発送するサーバーであることを特徴とする請求項 4 又は請求項 5 記載の消耗品提供システム。

【請求項 7】 消耗品提供側のサーバーは、消耗品が規定回数のリサイクルを完了した場合、新品を必要とするとの取り決めがあれば、新品の消耗品を手配

するサーバーであることを特徴とする請求項 4 乃至 6 記載の消耗品提供システム

【請求項 8】 消耗品提供側のサーバーは、代替リサイクル消耗品について、同等レベルの代替リサイクル消耗品又は近いレベルの同種の代替リサイクル消耗品を顧客から預託された消耗品在庫の中から用意するサーバーであることを特徴とする請求項 4 記載の消耗品提供システム。

【請求項 9】 消耗品には装置情報、顧客情報、リサイクル回数の情報を記憶する ID タグが貼付されることを特徴とする請求項 1 乃至 8 記載の消耗品提供システム。

【請求項 10】 消耗品提供側のサーバーは、顧客のアクセスにより特定顧客向けファイルが開示され、この開示された内容により当該顧客の消耗品の在庫状況を参照可能とするサーバーであることを特徴とする請求項 4 又は請求項 8 記載の消耗品提供システム。

【請求項 11】 フランチャイザーと多くのフランチャイジーで 1 つのグループを形成し、当該グループで消耗品の購入が為され、1 つのフランチャイジー内に同等レベル製品がない場合には、近辺の他のフランチャイジーに同等レベル製品がないか照会し、いくつかのフランチャイジーに同等レベル製品がない場合に、近いレベルの同種製品の在庫照会を行うことを特徴とする請求項 4 乃至 6、又は請求項 9 記載の消耗品提供システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークに接続する装置の消耗品を提供するシステムに係り、特に消耗品を迅速及び効率的に提供できる消耗品提供システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、例えば、オフィスで使用される印刷装置（プリンタ）のトナーが消耗すると、その消耗に気づいたオフィス内の者が、業者に連絡してカートリッジを注文するということが行われていた。

【 0 0 0 3 】

また、消耗品の発注を自動化するためのシステムとして、平成 8（1996）年 11 月 29 日公開の特開平 8 - 3 1 5 0 5 2 号「自動発注システム」（出願人：株式会社リコー、発明者：藤谷聡司）がある。

この発明は、各端末装置で足りなくなった消耗品をネットワークに接続した中継装置を介してファクシミリ通信で発注し、発注作業の軽減を図るというものである。

【 0 0 0 4 】

また、近年、環境保護のために、トナーカートリッジのトナーを詰め替えて複数回再利用するリサイクルが行われている。但し、トナーカートリッジの種類によって再利用できる回数が決まっており、この回数を管理しながらリサイクルを行う必要がある。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記従来の自動発注システムでは、消耗品が無くなってから発注を行うものとなっているため、迅速に代替品を業者が届けることができず、人による発注の場合と大差はなく、まだまだ効率的とはいえないという問題点があった。

【 0 0 0 6 】

また、リサイクルの場合も、業者はトナーカートリッジにおける詰め替え回数を管理して消耗品を提供する必要があったため、リサイクルの事業を効率的に行うことが困難であるとの問題点があった。

【 0 0 0 7 】

本発明は上記実情に鑑みて為されたもので、消耗品又は代替リサイクル消耗品を迅速且つ効率的に提供できる消耗品提供システムを提供することを目的とする。

【 0 0 0 8 】

【課題を解決するための手段】

上記従来例の問題点を解決するための本発明は、消耗品提供システムにおいて

、消耗品提供側のサーバーが、接続される装置の使用情報を管理するサーバーとネットワーク接続により装置の使用情報を取得し、当該装置の消耗品の納入予定を推測し、当該納入予定日となると消耗品の発送手続を行うものであり、消耗品を迅速且つ効率的に提供できる。

【 0 0 0 9 】

本発明は、消耗品提供システムにおいて、消耗品提供側のサーバーが、接続される装置の使用情報を管理するサーバーにネットワーク接続により装置の使用情報を取得し、当該装置の消耗品の納入予定を推測し、当該納入予定日となると納入予定の消耗品とリサイクル回数が同等レベルの代替リサイクル消耗品の発送手続を行うものであり、代替リサイクル消耗品を迅速且つ効率的に提供できる。

【 0 0 1 0 】

また、本発明は、上記消耗品提供システムにおいて、消耗品提供側のサーバーが、消耗品提供側に同等レベルの代替リサイクル消耗品がない場合、提携する同業者から同等レベルの代替リサイクル消耗品を用意するものであり、代替リサイクル消耗品をより効率的に提供できる。

【 0 0 1 1 】

また、本発明は、上記消耗品提供システムにおいて、消耗品提供側のサーバーが、消耗品提供側に同等レベルの代替リサイクル消耗品がない場合、近いレベルの同種の代替リサイクル消耗品を用意するものであり、代替リサイクル消耗品をより効率的に提供できる。

【 0 0 1 2 】

本発明は、上記消耗品提供システムにおいて、消耗品には装置情報、顧客情報、リサイクル回数の情報を記憶する I D タグが貼付されるものであり、行程管理を容易にし、代替リサイクル消耗品を迅速且つ効率的に提供できる。

【 0 0 1 3 】

【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態を図面を参照しながら説明する。

本発明の実施の形態に係る第 1 の消耗品提供システムは、消耗品提供側のサーバーが、接続される装置の使用情報を管理するサーバーとネットワーク接続によ

り装置の使用情報を取得し、当該装置の消耗品の納入予定を推測し、当該納入予定日となると消耗品の発送手続を行うものであり、消耗品を迅速且つ効率的に提供できるものである。

【 0 0 1 4 】

また、本発明の実施の形態に係る第 2 の消耗品提供システムは、消耗品提供側のサーバーが、接続される装置の使用情報を管理するサーバーにネットワーク接続により装置の使用情報を取得し、当該装置の消耗品の納入予定を推測し、当該納入予定日となると納入予定の消耗品とリサイクル回数が同等レベルの代替リサイクル消耗品の発送手続を行うものであり、代替リサイクル消耗品を迅速且つ効率的に提供できるものである。

【 0 0 1 5 】

本発明の実施の形態に係る第 1 の消耗品提供システム（第 1 のシステム）について、図 1 を用いて説明する。図 1 は、本発明の実施の形態に係る第 1 の消耗品提供システムの概略構成図である。

第 1 のシステムは、図 1 に示すように、消費者側として LAN（Local Area Network）接続の印刷機（印刷装置又はプリンタ）1 と、当該 LAN における情報を記憶する記憶装置（ファイル）2 と、当該 LAN に接続すると共にインターネットに接続するサーバー 3 と、消耗品販売者側としてインターネットに接続するサーバー 4 と、他の消費者側としてインターネットに接続するパソコン（PC）5 とから構成されている。

【 0 0 1 6 】

次に、第 1 のシステムの各部を具体的に説明する。

印刷機 1 は、トナー等の消耗品の使用量情報を LAN 経由でサーバー 3 に知らせる。ここで、使用量情報としては、トナーが近々無くなることを知らせるトナーニアアエンド、またトナーが無くなったことを知らせるトナーエンプティ等の情報がある。

図 1 では、LAN 接続の印刷機 1 を 1 台しか示していないが、本来、LAN 接続の複数の印刷機を想定している。

【 0 0 1 7 】

サーバー 3 は、印刷機 1 から送信される消耗品の使用量情報を受信し、ファイル 2 に記憶する。サーバー 3 は、LAN 接続の複数の印刷機 1 それぞれについて管理しており、各印刷機 1 から受信した消耗品の使用量情報を各印刷機毎に管理している。

また、サーバー 3 は、インターネットを介して消耗品販売者のサーバー 4 からのアクセスに対してファイル 2 に記憶されている情報をサーバー 4 に出力する。

【0018】

ファイル 2 は、サーバー 3 の制御により、印刷機 1 毎に消耗品の使用量情報を記憶すると共に、記憶する情報を読み出してサーバー 3 に出力する。

記憶する情報としては、印刷機のアドレス情報、印刷機の機種情報、それに印刷機の消耗品の使用量の情報等である。

【0019】

消耗品販売者のサーバー 4 は、各消費者の印刷機 1 を各消費者のサーバー 3 を介して管理しており、印刷機 1 の状況に応じて消耗品を受注し、消耗品の発送を行う。

具体的には、サーバー 4 は、図 2 に示す処理を行う。図 2 は、本発明の実施の形態に係る第 1 の消耗品提供システムにおける処理を示すフロー図である。

図 2 に示すように、サーバー 4 は、各消費者のサーバー 3 にアクセスし（S1）て、印刷機 1 でのトナーニアード検知したものがあつたかどうか判断する（S2）。トナーニアードを検知しなければ（N の場合）処理 S1 へ戻る。

【0020】

尚、サーバー 4 はサーバー 3 に定期的にアクセスするようにしているが、サーバー 3 から消耗品の情報に関して変化があつた場合にのみ報告を受けるようにしても構わない。

また、サーバー 4 はサーバー 3 を介してファイル 2 のデータにアクセスしているが、このアクセスにはセキュリティ手段を使用する。つまり、サーバー 4 は、予め定められた手段（プロトコル、認証）でファイル 2 へのアクセスを実行し、顧客情報、印刷機の機種名、消耗品の消耗度合い等の情報を入手する。

【0021】

トナーニアードを検知したら（Ｙｅｓの場合）、その時点で、代替消耗品を受注する（Ｓ３）。そして、サーバー４は、今までの当該印刷機１の履歴によりトナーエンプティとなる前の時期であって、代替消耗品の納入予定を推測する（Ｓ４）。

尚、代替消耗品の納入予定の推定は、今までの印刷機でトナーニアードからトナーエンプティとなるまでの最も短い日数で発送に要する日数を差し引いて得られた日とすることが考えられる。また、今までの印刷機でトナーニアードが検知されてトナーエンプティとなるまでの平均日数を計算し、その日数から発送に要する日数を差し引いて得られた日より短い日とすることも考えられる。

【0022】

そして、処理Ｓ４で推測した納入予定日になった印刷機１があるかどうか判定し（Ｓ５）、納入予定日となった印刷機１がなければ（Ｎｏの場合）、処理を終了する。

納入予定日となった印刷機１があれば（Ｙｅｓの場合）、発送手続を行い（Ｓ６）、代金請求を行う（Ｓ７）。その後、代金を受領することになる。

【0023】

また、サーバー４は、以上の処理を行うのに、消費者の印刷機のアドレス、顧客名、印刷機の機種、納品場所、納品書の発送先、請求書の発送先等の情報を保有するものである。

【0024】

第１のシステムによれば、消費者の印刷機１でＬＡＮに接続されていれば、その印刷機１からサーバー３を介してファイル２にトナーニアードの情報を格納しておく、消耗品販売者のサーバー４が定期的に消費者（顧客）のサーバー３にアクセスしてファイル２内のトナーニアードとなった印刷機１に関する情報を取得し、そのトナーニアードから消耗品の納入予定日を推測して消耗品を発送できるので、消耗品販売者における消耗品の受注、発送の手続が迅速且つ簡略化される効果があり、更に顧客としてはトナーエンプティとなる前にトナーカートリッジ等の消耗品を受け取ることができ、顧客の業務の流れを止めると

いうことがない。

【 0 0 2 5 】

次に、本発明の実施の形態に係る第 2 の消耗品提供システム（第 2 のシステム）について説明する。

第 2 のシステムは、図 1 に示した第 1 のシステムと基本的には同じであるが、消耗品販売者が消耗品のリサイクル業者である点と、それに伴うサーバーでの処理が第 1 のシステムとは相違している。

【 0 0 2 6 】

第 2 のシステムでは、顧客の印刷機のトナーが消耗した場合に、消耗品販売者（リサイクル業者）は、トナーの詰め替えを行った別のトナーカートリッジを顧客に提供するものであり、代替リサイクル消耗品を迅速且つ効率的に提供できるものである。

【 0 0 2 7 】

但し、トナーカートリッジは、その機種によって、トナーの詰め替えができるリサイクル回数が予め定まっており、消耗品販売者のサーバー 4 又は顧客のサーバー 3 はトナーカートリッジ毎に「リサイクル可能回数」を管理している。

例えば、サーバー 4 が、トナーカートリッジ毎に「リサイクル可能回数」を管理することになるとすると、サーバー 4 は、顧客毎に印刷機のアドレス、印刷機の種類、トナーカートリッジの種類、そのトナーカートリッジのリサイクル可能回数を管理しているものである。

【 0 0 2 8 】

従って、顧客のトナー（消耗品）がトナーニアアエンドとなった場合に、代替リサイクル消耗品を在庫の中から用意することになるが、トナーニアアエンドとなったカートリッジについて、リサイクル可能回数から－1 した回数の同機種のカートリッジ（同等レベル製品）を選択して顧客に提供することになる。

もし、在庫の中に同等レベル製品がない場合には、近いレベルの同機種の製品を提供することになる。

【 0 0 2 9 】

第 2 のシステムについて図 1 及び図 3 を用いて具体的に説明する。図 3 は、本

発明の実施の形態に係る第2の消耗品提供システムにおける処理を示すフロー図である。

印刷機1は、LAN経由で顧客サーバー3に消耗品の使用量情報（トナーニアードエンド又はトナーエンブティ）を通知すると、サーバー3は、ファイル2にその情報を印刷機1毎に記憶させる。

【0030】

消耗品販売者（リサイクル業者）のサーバー4は、インターネットを介して顧客のサーバー3にアクセスし、ファイル2に記憶された消耗品の使用量情報を取得する（S11）。尚、第1のシステムと同様に、顧客のサーバー3から消耗品の情報に変化があった場合にのみサーバー4が報告を受けるようにしても構わない。

第2のシステムでも、サーバー4からサーバー3及びファイル2へのアクセスはセキュリティ手段を用いて行う。

【0031】

サーバー4は、取得した消耗品に関する情報の内、トナーニアードエンドを検知する（S12）と、消耗品に関する情報がリサイクル会員（顧客の中で予め消耗品販売者と契約により消耗品のサイクルを行うことが決まっている会員）のものであるか、又は非リサイクル会員のものであるかを判断する（S13）。

【0032】

リサイクル会員の場合（Yesの場合）、リサイクル会員が保有するトナーカートリッジと同等回数リサイクルされた製品（同等レベル製品）の在庫の有無について、サーバー4は在庫情報を照会する（S14）。

【0033】

ここで、サーバー4は自己の在庫情報を照会しても該当製品の在庫がない場合には、同様のビジネスを行う同業者であって提携する同業者であればその在庫情報も照会する。図1ではPC5が提携する同業者のサーバーを示している。これら在庫情報に該当製品がない場合には、近いレベルの同様製品（同種製品）の在庫を照会する（S15）。照会結果により、同等レベル製品、若しくは近いレベルの同様製品があれば、顧客に納期を回答し（S16）、発送手続を行う（S

17)。

【0034】

また、リサイクル会員の消耗品が規定回数のリサイクルを完了していれば、サーバー4は新品の手配の可否を参照する。リサイクル会員は、消耗品が規定回数リサイクルを終了した場合に、新品を必要とするか取り決めが為されていれば、サーバー4はこの情報を参照して新品の手配を行う。

【0035】

処理S13において、リサイクル会員でなければ(Noの場合)、つまり、非リサイクル会員であれば、顧客から預託された消耗品在庫の照会を行い(S18)、在庫があれば納期を顧客に回答し、在庫がなければ代替品は新品でよいか顧客に問い合わせる。非リサイクル会員が、新品代替品を希望する場合には回答に則して納期を回答する。

【0036】

非リサイクル会員が、代替リサイクル消耗品を希望する場合には、消耗品販売者は、使用済み消耗品を送付してもらう要請を行い、その送付要請情報に基づいて消耗品販売者は、顧客に代替リサイクル消耗品の納期を回答する。

【0037】

リサイクル会員及び非リサイクル会員は、消耗品販売者の納期回答をもって売買契約が成立したものとする。

得られたリサイクル会員及び非リサイクル会員の消耗品の情報は、消耗品販売者のサーバー4に格納され、次回の消耗品の必要な時期を推測するのに用いられる。また、サーバー4は、顧客のLAN管理サーバー3に、どの印刷機1に対して消耗品を何時配送するか需要予測を更新する。

【0038】

消耗品販売者は、顧客の要望する製品を予め取り決められた場所に配送する(S17)。例えば、印刷機が設置されている会社、工場、事務所に配送してもよいが、コンビニでの配送・決済も可能である。

また、消耗品販売者は、予め定められた方法、時期に顧客に代金請求を行う(S19)。

顧客は、請求書に従って代金を消耗品販売者に支払う。

【0039】

第2のシステムによれば、リサイクル会員であれば、代替リサイクル消耗品を同等レベル製品にて顧客に提供できるようにしているので、代替リサイクル消耗品の提供を迅速且つ効率的に行うことができる効果がある。

【0040】

次に、消耗品販売者は、顧客の希望に従って使用済み又はトナーニアアエンドの消耗品を回収する。

回収された消耗品については、顧客のIDタグを消耗品販売者の倉庫に荷受けした段階で貼付する。

IDタグとは、マイクロ波と省電力チップを組み合わせた非接触型データキャリアであり、このタグに以下の情報が記憶される。このような情報をIDタグとして消耗品に貼付することで、当該消耗品を元の顧客に返却し易くするものである。また、行程管理を容易にし、代替リサイクル消耗品を容易に分別して迅速な配送を実現できるものである。

【0041】

IDタグには、印刷機1のアドレス情報、顧客名、印刷機の機種、カートリッジのリサイクル回数等の情報が記憶される。

IDタグに記憶された情報は、出荷時、リサイクル可能か否かの判定時、及びリサイクル処理済みの在庫繰り入れ時に、サーバー4の商品マスターファイルに登録・記憶される。

【0042】

サーバー4の商品マスターファイルには、顧客名、登録会員（リサイクル会員）か否か、決済条件、納品場所指定、リサイクル不能の場合の処理方法（返却、廃棄、理由書必要の有無）、リサイクル回数満期の場合に新品が必要か否か、納品書の送付先、請求書の送付先、顧客の所有する印刷機（プリンタ）のモデル名等の情報が記憶される。

【0043】

顧客と消耗品販売者との間の取り決めに従い、これらの在庫状況は顧客のアク

セスにより特定顧客向けファイルが開示され、この開示された内容により、顧客は消耗品リサイクルの状況、予定納期、過去の発注、受け入れ履歴を参照できる。

【0044】

ここで、第2のシステムを用いたフランチャイズの仕組みについて説明する。

当該事業を推進するフランチャイザーに対してこのシステムにおいて実際のリサイクル事業を行うフランチャイジーを数多く集める。

フランチャイザーと多くのフランチャイジーで1つのグループを形成し、当該グループで消耗品の購入を行う。すると、リサイクルする消耗品はグループ内の所有物となる。

【0045】

また、1つのフランチャイジー内に同等レベル製品がない場合には、近辺の他のフランチャイジーに同等レベル製品がないか照会し、いくつかのフランチャイジーに同等レベル製品がない場合に、近いレベルの同様製品の在庫照会を行うようにしているので、代替リサイクル消耗品の再利用効率が高いものとなる。

尚、図1のPC5は、近辺の他のフランチャイジーの照会先のサーバーを示している。

【0046】

尚、本発明の実施の形態では、消耗品としてトナーを例に説明したが、これ以外の消耗品及び品質が劣化する部品等の消耗品に近い部品等にも応用できるものである。

【0047】

【発明の効果】

本発明によれば、消耗品提供側のサーバーが、接続される装置の使用情報を管理するサーバーとネットワーク接続により装置の使用情報を取得し、当該装置の消耗品の納入予定を推測し、当該納入予定日となると消耗品の発送手続を行う消耗品提供システムとしているので、消耗品を迅速且つ効率的に提供できる効果がある。

【0048】

本発明によれば、消耗品提供側のサーバーが、接続される装置の使用情報を管理するサーバーにネットワーク接続により装置の使用情報を取得し、当該装置の消耗品の納入予定を推測し、当該納入予定日となると納入予定の消耗品とリサイクル回数が同等レベルの代替リサイクル消耗品の発送手続を行う消耗品提供システムとしているので、代替リサイクル消耗品を迅速且つ効率的に提供できる効果がある。

【 0 0 4 9 】

また、本発明によれば、消耗品提供側のサーバーが、消耗品提供側に同等レベルの代替リサイクル消耗品がない場合、提携する同業者から同等レベルの代替リサイクル消耗品を用意する上記消耗品提供システムとしているので、代替リサイクル消耗品をより効率的に提供できる効果がある。

【 0 0 5 0 】

また、本発明によれば、消耗品提供側のサーバーが、消耗品提供側に同等レベルの代替リサイクル消耗品がない場合、近いレベルの同種の代替リサイクル消耗品を用意する上記消耗品提供システムとしているので、代替リサイクル消耗品をより効率的に提供できる効果がある。

【 0 0 5 1 】

本発明によれば、消耗品には装置情報、顧客情報、リサイクル回数の情報を記憶するＩＤタグが貼付される上記消耗品提供システムとしているので、行程管理を容易にし、代替リサイクル消耗品を迅速且つ効率的に提供できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施の形態に係る第 1 の消耗品提供システムの概略構成図である。

【図 2】

本発明の実施の形態に係る第 1 の消耗品提供システムにおける処理を示すフロー図である。

【図 3】

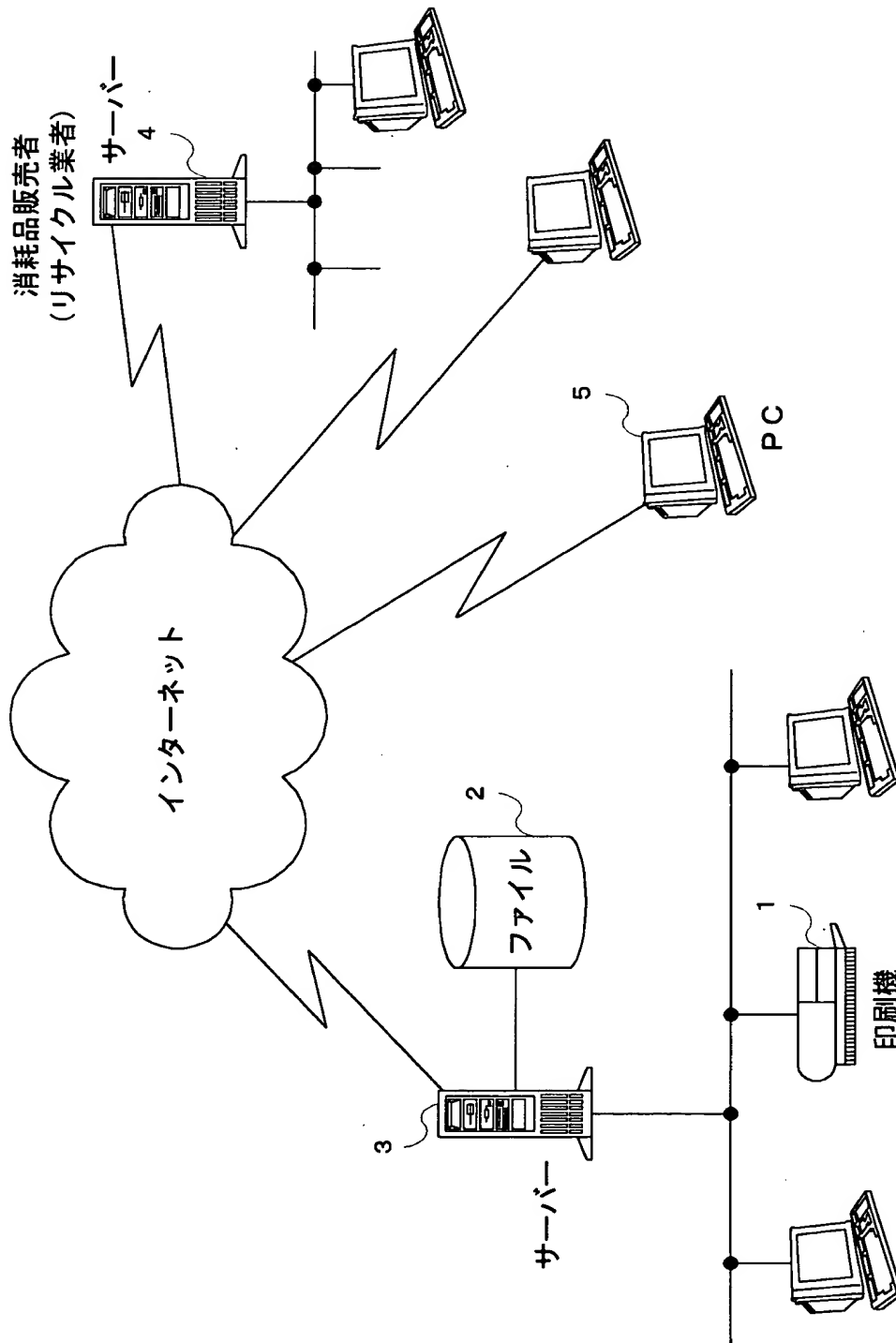
本発明の実施の形態に係る第 2 の消耗品提供システムにおける処理を示すフロー図である。

【符号の説明】

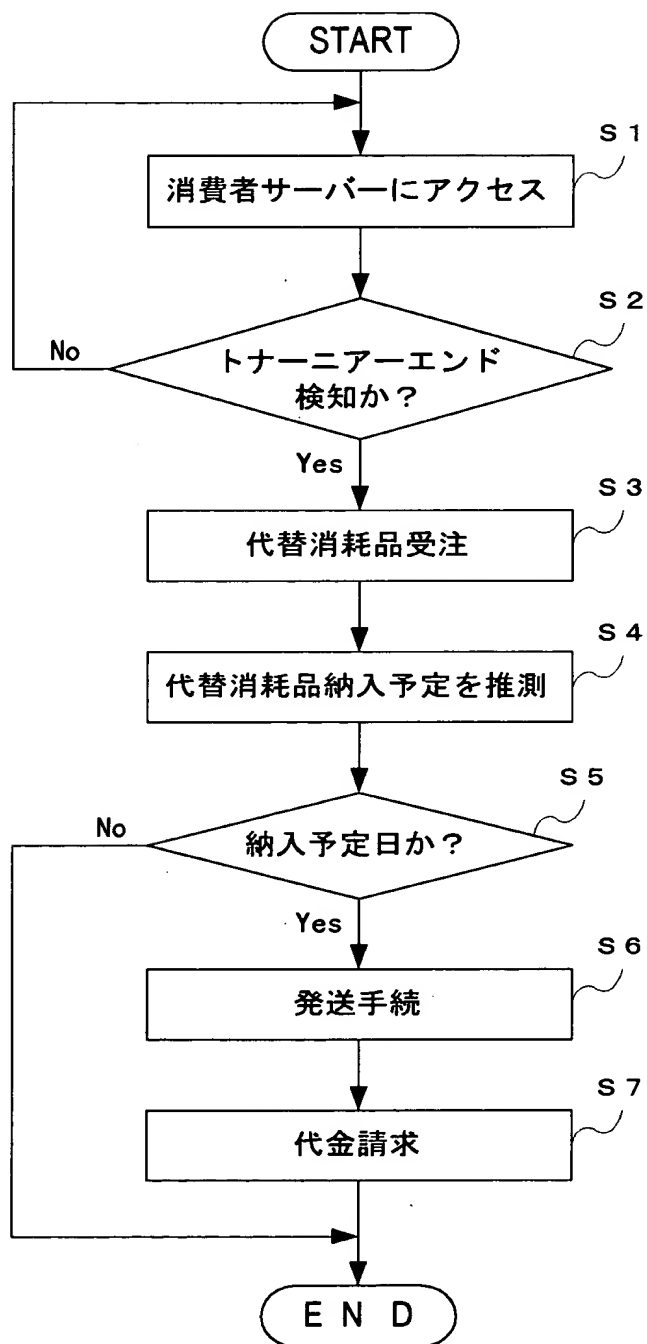
1 …印刷機、 2 …ファイル、 3 …サーバー、 4 …サーバー、 5 …P C

【書類名】 図面

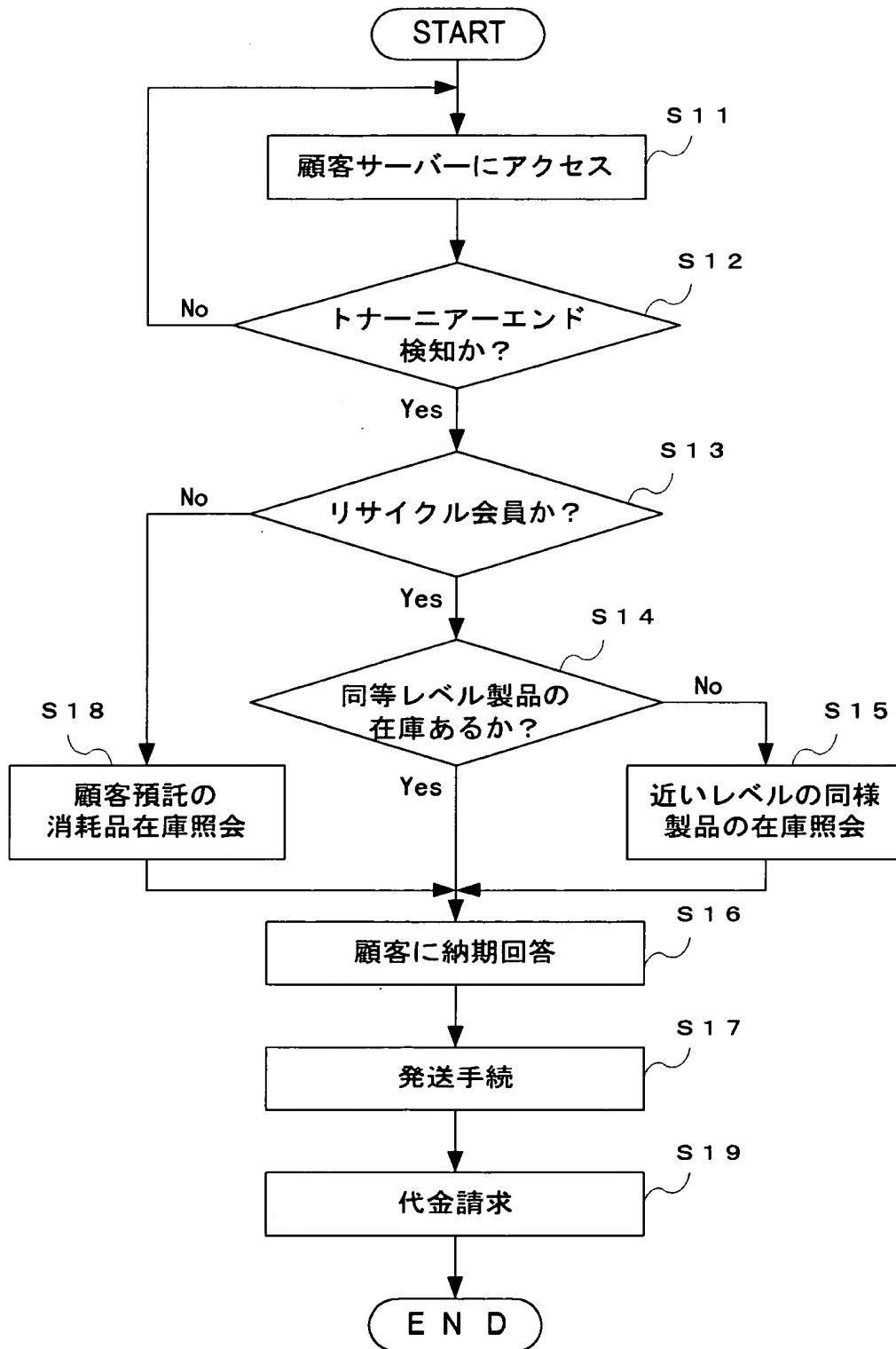
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 消耗品又は代替リサイクル消耗品を迅速且つ効率的に提供できる消耗品提供システムを提供する。

【解決手段】 L A N 接続の印刷機 1 の使用情報を管理するサーバー 3 を介してファイル 2 に記憶し、消耗品提供側のサーバー 4 が、インターネットを介してファイル 2 の使用情報を取得し、印刷機 1 の消耗品の納入予定を推測し、当該納入予定日となると消耗品若しくは納入予定の消耗品とリサイクル回数が同等レベルの代替リサイクル消耗品の発送手続を行う消耗品提供システムである。

【選択図】 図 1

特 2000-141017

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-141017
受付番号	50000591959
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成12年 5月18日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成12年 5月12日
-------	-------------

次頁無

特 2000-141017

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500216857]

1. 変更年月日 2000年 5月12日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区神田和泉町1-9-17 新英ビル1F

氏 名 株式会社ハイパーマーケティング

特2000-141017

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500216879]

1. 変更年月日 2000年 5月12日

[変更理由] 新規登録

住 所 神奈川県横浜市青葉区みたけ台38-28

氏 名 谷 正行